

(認特) 大阪自然史センター

環境教育の現場に活かす —自然科学系ミュージアムでの 子どもワークショップ現状調査と人材育成

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



研修会でアイデアの共有をしている様子

活動内容と成果

【博物館子どもワークショップ調査】●20施設(東海・近畿・四国・中国・九州)へ調査に行き、初めて、事業協力者2人を迎えて調査することができた

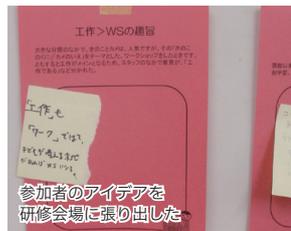
【研修会の開催】●関東の事務局メンバーが中心となって、12月に多摩六都科学館で研修会を開催し、地域を広げて事業を展開することができた ●「参加者の低年齢化」、「普及教育の評価」をテーマにして、2回の研修会を開催した。研修会のアンケートに回答した参加者36人全員が「(研修会の内容を)現場に還元できる」との回答を得た

課題

自然に親しむ心を育む目的で、全国の博物館には子どもワークショップが盛んに開催されているが、その現場・手法に関する情報は極端に少なく、評価されていない現状がある。

目標

博物館で開催される子どもワークショップに関する調査や研修会の開催を行い、全国の普及教育スタッフと協力して課題を考え、現場に還元できる方法を見出す。



参加者のアイデアを
研修会場に張り出した

調査博物館 20館

研修会参加者 46人

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 60%

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

事務局中心の事業展開となり、外部の事業協力を得るのが難しかった。事業に興味を持った人が協力しやすい仕組みが必要である。

■工夫した点

研修参加の効果を高めるために、参加者には事前課題を用意頂き、継続的な活動に繋がるよう終了後は連絡先交換を行った。

| 活動地域 |  大阪府大阪市

〒546-0034

大阪府大阪市東住吉区長居公園1-23

大阪市立自然史博物館内

電話：06-6697-6262

E-mail：yamashita@mus-nh.city.osaka.jp

<http://www.omnh.net/npo/>



今後の
展望

本事業の主旨に共感するメンバーを増やすことで、活動の効果を最大化する。大阪と東京で実施されてきた研修を、山陰や沖縄など他地域にも広げ、地域の協力者たちが中心となって事業が展開できる形を目指す。